

# 介護老人保健施設オアシス21 療養棟&相談員

**症例概要** 入所者：女性 90代後半 要介護3  
病名：脳梗塞後遺症、糖尿病、喘息、認知症

経過：独居生活をしていたが、高齢になり長女と2人暮らしを開始。介護サービスとしてオアシス21短期入所サービスをH19年12月から利用されている。

概要：糖尿病のコントロール不良で高血糖と低血糖を繰り返し、家族関係が不良で長女の助言に対して煩わしがる言動があり、時に反発してしまいケンカが絶えない状態であった。在宅混乱状態も強く、短期入所サービスを利用することで、ご家族との信頼関係の構築を図れるようスタッフ一丸となって関わりを行った。徐々に元気を取り戻し穏やかに生活できるようになる。初回ご利用から今年3月で短期入所利用が100回記念となり、皆でお祝いをし、次の目標は目指せ200回!をかけたご自宅でこれから元気で暮らせることを生きがいの目標にできた。

## 内 容

高齢のためご家族と新たに同居することが決まり、長女と同居生活を開始した。

環境に馴染めず、食生活が乱れ、持病の糖尿病が悪化。高血糖と低血糖を繰り返しており、長女のストレスも高まり口ケンカが絶えず在宅生活の危機となっていた。隣市の居宅ケアマネより、病状管理できる場所はオアシスしかないと言われ相談があり、H19年12月当施設短期入所サービス利用開始となった。

入所当初は混乱状態強く、表情陰しく、いつもご家族に対して愚痴が多く夜間も不眠が続いた。主治医と連携を図り、精神状態の安定と血糖コントロールの改善を目標にご家族とともに一丸となって関わりを行いました。

血糖ノートに毎日の血糖値を記入し、朝食前に低血糖をおこしやすく食後血糖が高いことを、ご家族と情報共有し、低血糖など対応方法の統一を図った。

短期入所のプログラムは歩行訓練を中心に運動量UPを図り、食事の相談や、脳トレの実施、スキンケアを通して訴えの傾聴を図るなど全職員で勇気づけを実施。

とくに食事はご本人が1番の楽しみで「オアシスの食事は美味しい」とスタッフとの関係が構築されていき、徐々に笑顔になっていきました。

そんな中、R4年3月で短期入所100回の記念利用となり、職員でサプライズ企画を計画。記念カードを作成し職員と記念写真をとり、ご家族とは温泉旅行を企画していただき、100回目の短期入所終了

後に温泉へ直行し家族水入らずで楽しむことができました。ご本人は大変喜んで「みんなのおかげ感謝しています。長生きして恩返しがしたい」といい、『目指せ200回利用!』と笑顔で、在宅生活を楽しく暮らるようになりました。

「短期入所サービス」にてこころの安定を図り、ご家族との絆づくりによって、体調面も回復され生き生きとした表情を取り戻すことができた貴重な事例をご報告いたします。